取扱説明書　（スポットライト）　保管用

MS10105　MS10106　MS10107

このたびは、マックスレイ照明器具をお買い上げいただきまことにありがとうございます。ご使用になる前に必ず本説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

施工者様へのお願い

器具の取付け、電気工事は電気設備技術基準に従って、有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。工事終了後、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

【安全上のご注意】

⚠ 警　告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

厳守

器具の取付けは、説明書に従い確実に行なってください。
→器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。

禁止

このような場所には取付けないでください。
この器具は天井・壁・直置取付可能器具です。
不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所には取付けないでください。
→火災・感電・落下によるけがの原因になります。

不安定な場所

補強のない場所

この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。
→火災・感電の原因になります。

分解禁止

器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
→火災・感電・落下によるけがの原因になります。

アース工事

アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行なってください。
→アースが不完全な場合、感電の原因になります。

厳守

器具と被照射面の距離は器具表示および説明書に従って、ドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように取付けてください。
→照射距離が制限より近すぎると被照射物の変質・変色または焼損による火災の原因になります。

表示された電源電圧(AC100VまたはAC200V)以外の電源で使用しないでください。
→火災・感電の原因になります。

⚠ 注　意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

禁止

ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。
→火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。

禁止

ガス機器など、温度が高くなるものの上に取付けないでください。
→火災の原因になります。

■定格

型　番	定格電圧	周波数	消費電力	使用ランプ
MS10105－24(40) MS10106－24(40) MS10107－24(40)	AC100V または AC200V	50／60Hz 共用	171W または 166W	MT150(F)CELWE MT150(F)CEWWE MT150(F)CEWE

お客様相談窓口

マックスレイ株式会社

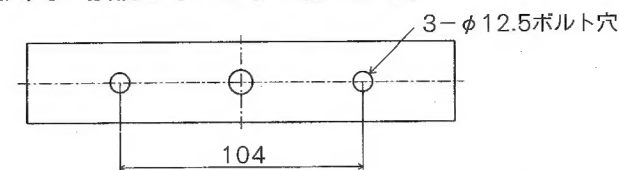
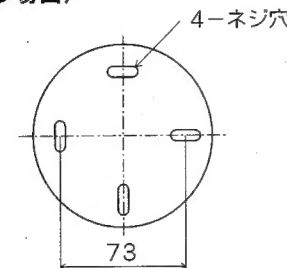
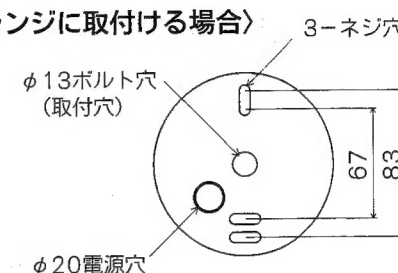
東　京　03－3791－2711
大　阪　06－6967－0123
名古屋　052－252－9556
福　岡　092－431－7824

■施工前の確認

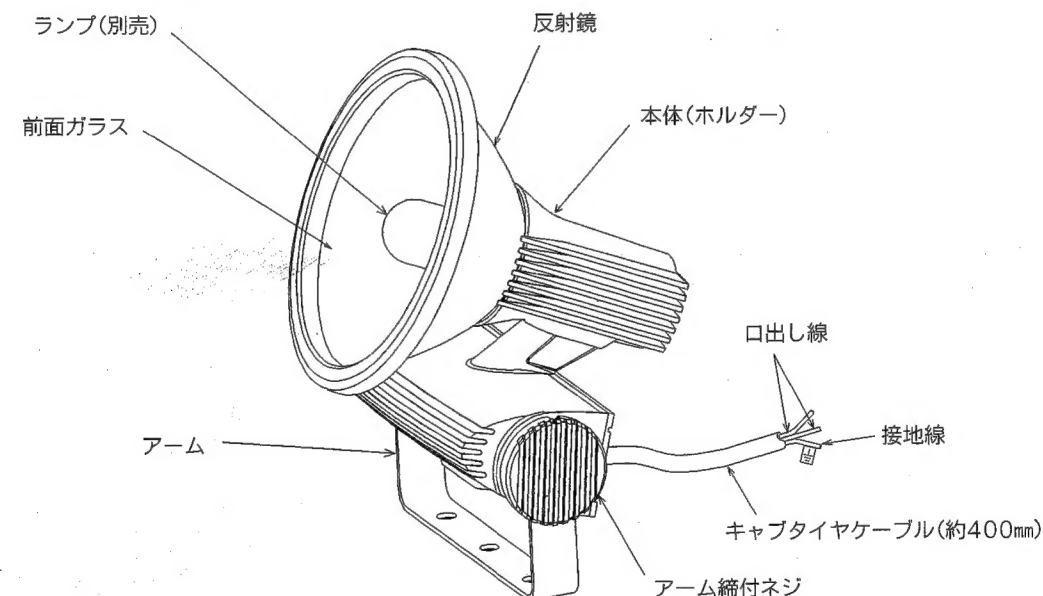
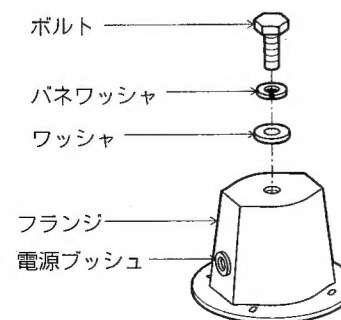
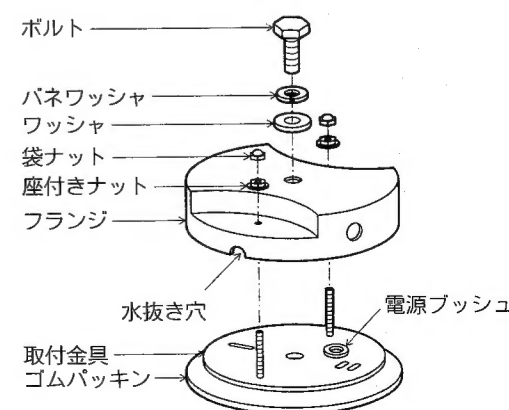
1 器具質量（約3.0kg）に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

2 取付面が十分乾燥していることを確認する
器具や取付面の変色の原因になります。

3 メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの造営物に取付ける場合
器具の金属部分と電気的に接続しないように施工する。

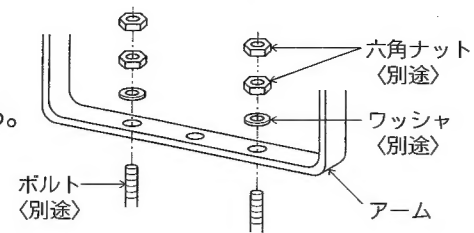
4 取付ピッチ
〈直付けの場合〉

■施工手順　⚠ 注意　取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

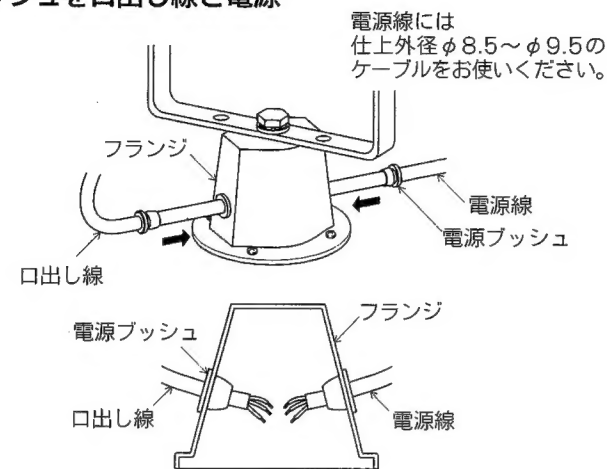
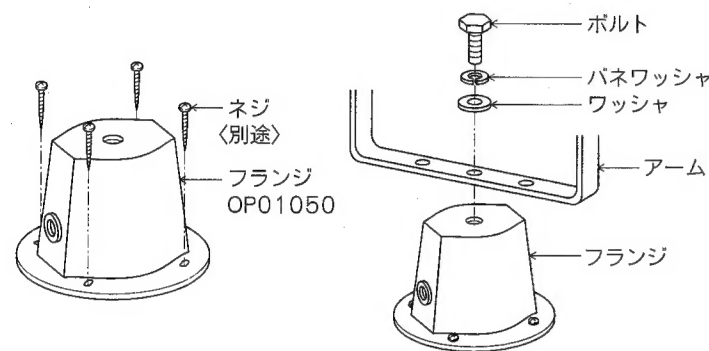
MS10105　2005.03.25

1 本体を取付ける

〈直付けの場合〉

アームにボルトを通し、ワッシャ、六角ナット(市販品)で取付ける。

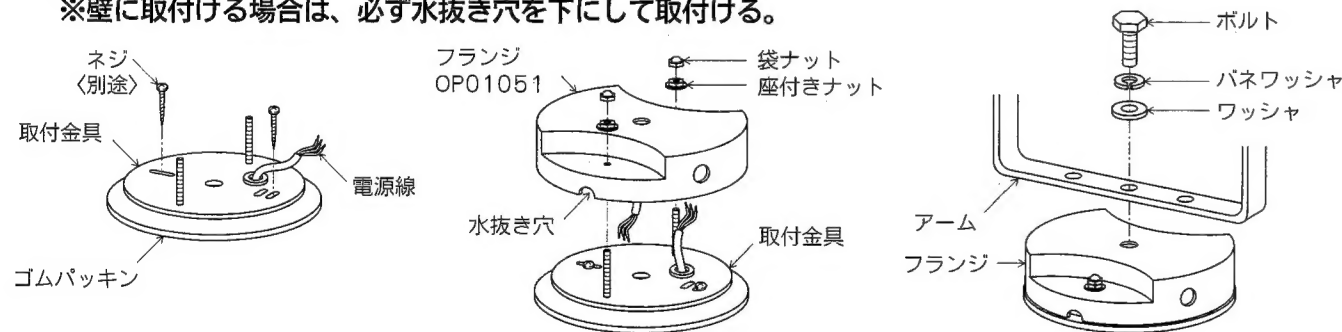
※直付けの場合はボルト2本で取付ける。

〈床用フランジに取付ける場合〉(OP01050)

フランジをネジ(市販品)で取付ける。アームをフランジに合わせ、ワッシャ、バネワッシャ、ボルトで取付ける。

※電源の接続をフランジ内で行なう場合は、必ず電源ブッシュを口出し線と電源線に通し、接続してからフランジを取付ける。

〈天井・壁面用フランジに取付ける場合〉(OP01051)

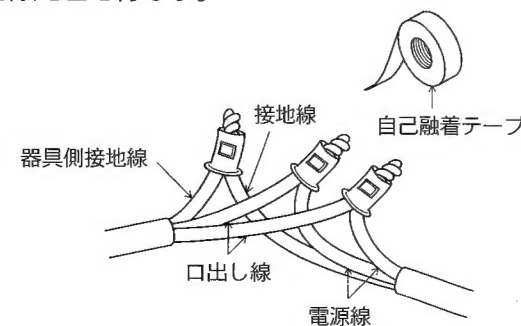
ゴムパッキン、取付金具に電源線を通し、ネジ(市販品)で取付ける。フランジを取付金具に合わせ、座付きナット、袋ナットで取付ける。アームをフランジに合わせ、ワッシャ、バネワッシャ、ボルトで取付ける。

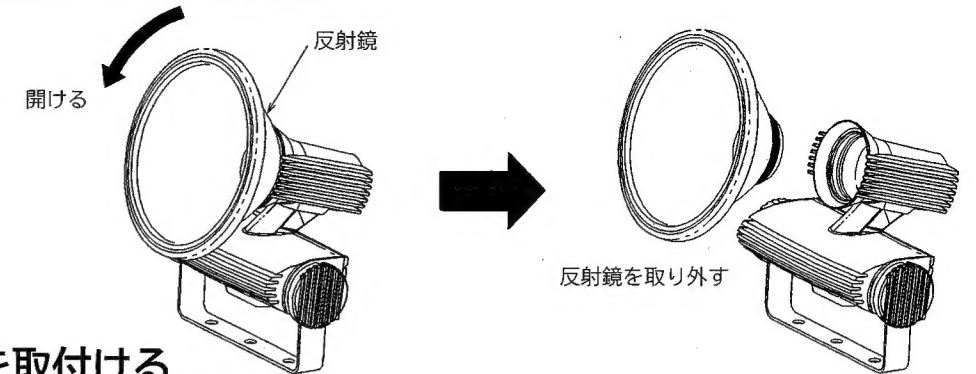
※電源の接続をフランジ内で行なう場合は、口出し線をフランジ内に引き込んで接続してから、フランジを取付ける。

※壁に取付ける場合は、必ず水抜き穴を下にして取付ける。

2 電源線を接続する

電源線と口出し線を確実に接続し、自己融着テープなどで絶縁処理を行なう。

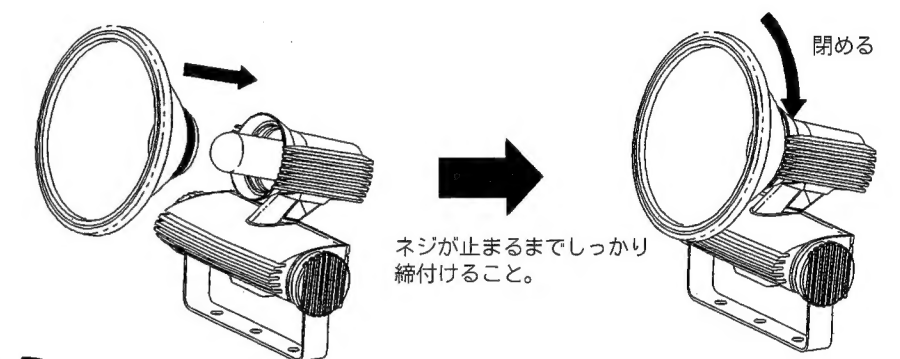
※D種(第三種)接地工事を行なう。

⚠警告　電源の接続を確実に行なってください。
接続が不完全な場合は火災の原因になります。

3 反射鏡を開ける

反射鏡を矢印の方向に回転させ、ネジを緩め開ける。

4 ランプ(別売)を取付ける

器具の指定ランプを確認し、ソケットに確実に取付ける。

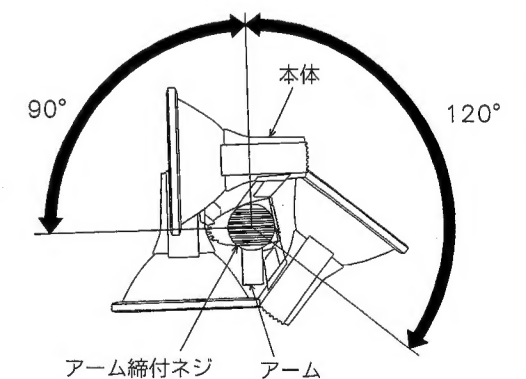
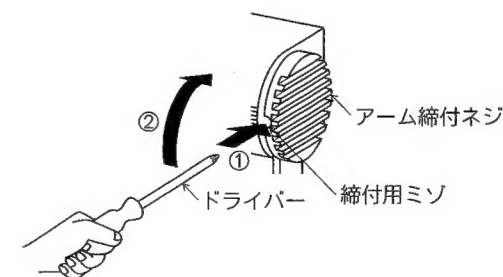
5 反射鏡を取付ける

反射鏡を矢印の方向に回転させ、ネジをしっかり締付ける。

6 点灯の確認を行なう

⚠危険　点灯時は高圧パルスが発生しています。触らないでください。

■照射方向の調節について

※照射方向の調節の際は、素手で触らないで手袋をご使用ください。

●照射方向を調節する場合はアーム締付ネジをゆるめてからアームを持って行なってください。指定範囲以上無理に動かさないでください。
調節後、アーム締付けネジを締め付け、ドライバーを締付用ミゾに差し込んで強く締め付けてください。

■照射距離について

●照射距離により被照射面が変色・変質するおそれがあります。
被照射面との距離は1.5m以上離してください。